

(様式3)

事業所名 グループホームめぐり山本

## 目標達成計画

作成日: 令和 5 年 8 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	認知症状の、繰り返し同じ訴えや行動に対して「そうですね。待ってください。動いたら危ない」など簡単な言葉で対応する場面があり、介助が重なるなど職員が少ない理由もあるが、利用者は意味が分からず待つことになる。その都度きちんと伝える必要がある。	忙しい時であっても、傾聴の姿勢を持ち、少し待てるようにきちんと理由を伝えて、安心して待てる声掛け対応を実施する。	スピーチロックなどについて、施設内で研修を行い、自らの声掛け、介護を振り返る機会を作る。	1ヶ月
2	26	日々の記録が少ない。介護計画作成時、モニタリング時において、利用者本人、職員の方からの意見収集が少ない。	介護明細など各利用者の記録を充実させる。介護計画作成時、モニタリングの際は、利用者、職員の意見を反映した記録作成を行う。	会議などで周知できるまで、介護明細など利用者一人ひとりの人生の記録が充実するように依頼する。ケアマネは計画作成時、モニタリングの際や朝礼など、工夫して少しの時間を作り、意識して聞き取るように努める。	3ヶ月
3	35	避難訓練など、同じような訓練になってしまう。またAEDなど救命救急の研修が出来ておらず、職員の多くが使用方法がわからない。	あらゆる災害を想定した訓練を取り入れ、行う。AEDなど救命救急訓練の実施。	会議で災害などの訓練方法について話し合う。それを反映した訓練の実施検討をする。消防署などにAED講習を依頼する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。